

原子炉格納容器内の原子炉格納容器冷却器排水受口からの水漏れについて

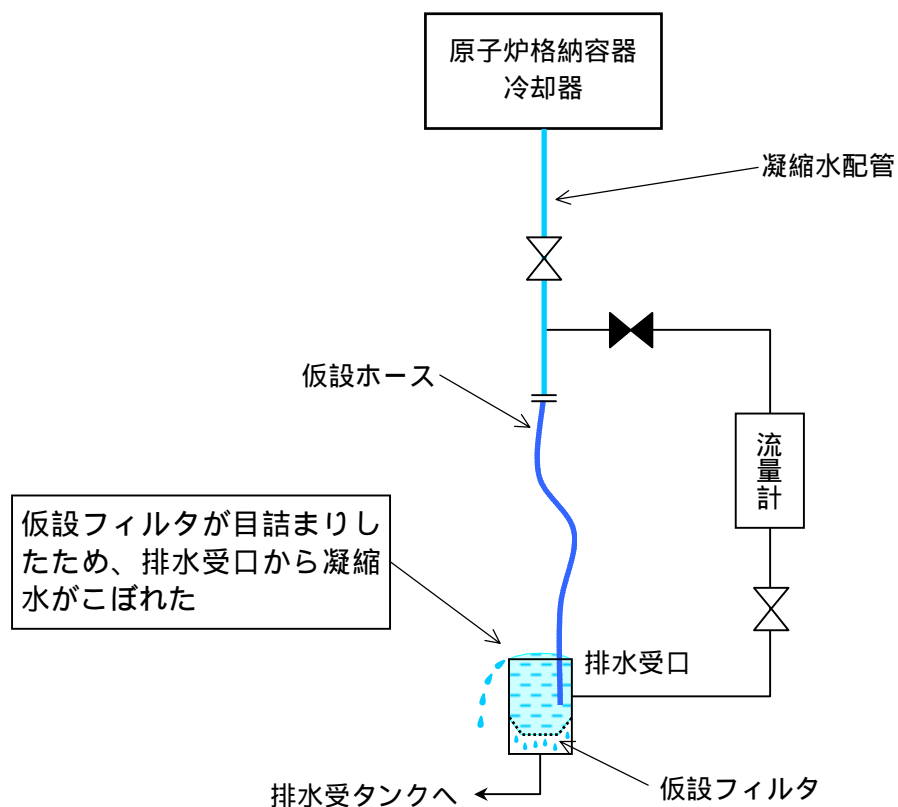
8月20日午前10時15分頃、原子炉建屋地下1階の原子炉格納容器内の原子炉格納容器冷却器*¹排水受口から水がこぼれているのを確認しました。こぼれた水は、原子炉格納容器内の空気を冷却・除湿することによって発生した凝縮水であり、量は約21リットル、放射能は含まれていませんでした。こぼれた水は拭き取りました。

外部への放射能の影響はありません。

原因は、原子炉格納容器冷却器内や凝縮水配管の洗浄作業のため、排水受口内に仮設フィルタを設置し仮設ホースを通じて凝縮水を排水していたところ、仮設フィルタが目詰まりしたため、凝縮水の排水が妨げられたことによるものです。

今後、仮設フィルタの点検頻度を、週1回から週2回にするとともに、目詰まりが確認された場合は、早めに取り替えることとします。

* 1 原子炉格納容器内の作業環境を正常に保つために冷却・除湿する機器



水漏れの状況